

科目名【授業題目（基礎教育科目のみ）】				講義形態																																																													
衛生学・公衆衛生学				講義																																																													
学期・曜日・時限	他学科履修	必修/選択	単位数	時間数																																																													
春学期：金曜-2限	可	必修	2単位	30時間																																																													
担当者		大槻 剛巳 [*] ，西村 泰光 [*] ，吉留 敬 [*] ，松崎 秀紀 [*] ，李 順姫 [*] ，武井 直子 [*]																																																															
対象学科		[技術]健康体育(2年)																																																															
授業のねらい		衛生学・公衆衛生学は、人々の健康が自然・社会・文化的環境と強く関わっていることを理解し、人々の生涯にわたる健康に関する諸制度の整備と保健活動を組織的に推進するものであることを学習する。																																																															
到達目標																																																																	
授業内容		人々の健康が自然・社会・文化的環境と強く関わっていることを理解するために、それぞれの状況がもたらす健康影響やその制御について、人々の生涯にわたる健康に関する諸制度の整備と保健活動を組織的に推進するものであることを理解するために、種々の制度や保健活動の実際を具体的にそれぞれの項目に分けて、授業をする。																																																															
授業計画		<table border="1"> <tr> <td>[1]</td> <td>衛生学・公衆衛生学：総論</td> <td>4月 7日(金) 2限</td> <td>大槻 剛巳</td> </tr> <tr> <td>[2]</td> <td>健康と環境，疫学的方法</td> <td>4月14日(金) 2限</td> <td>大槻 剛巳</td> </tr> <tr> <td>[3]</td> <td>健康の指標</td> <td>4月21日(金) 2限</td> <td>大槻 剛巳</td> </tr> <tr> <td>[4]</td> <td>生活環境の保全：総論</td> <td>4月28日(金) 2限</td> <td>大槻 剛巳</td> </tr> <tr> <td>[5]</td> <td>感染症</td> <td>5月12日(金) 2限</td> <td>松崎 秀紀</td> </tr> <tr> <td>[6]</td> <td>生活環境の保全：各論</td> <td>5月19日(金) 2限</td> <td>大槻 剛巳</td> </tr> <tr> <td>[7]</td> <td>医療の制度，地域保健活動</td> <td>5月26日(金) 2限</td> <td>大槻 剛巳</td> </tr> <tr> <td>[8]</td> <td>食品保健・栄養</td> <td>6月 2日(金) 2限</td> <td>武井 直子</td> </tr> <tr> <td>[9]</td> <td>生活習慣病・難病</td> <td>6月 9日(金) 2限</td> <td>大槻 剛巳</td> </tr> <tr> <td>[10]</td> <td>母子保健・学校保健</td> <td>6月16日(金) 2限</td> <td>李 順姫</td> </tr> <tr> <td>[11]</td> <td>中毒学</td> <td>6月23日(金) 2限</td> <td>吉留 敬</td> </tr> <tr> <td>[12]</td> <td>健康教育とヘルスプロモーション，精神保健福祉</td> <td>6月30日(金) 2限</td> <td>大槻 剛巳</td> </tr> <tr> <td>[13]</td> <td>産業保健：総論</td> <td>7月 7日(金) 2限</td> <td>西村 泰光</td> </tr> <tr> <td>[14]</td> <td>産業保健：各論</td> <td>7月14日(金) 2限</td> <td>西村 泰光</td> </tr> <tr> <td>[15]</td> <td>まとめと最近の公衆衛生の話題</td> <td>7月21日(金) 2限</td> <td>大槻 剛巳</td> </tr> </table>				[1]	衛生学・公衆衛生学：総論	4月 7日(金) 2限	大槻 剛巳	[2]	健康と環境，疫学的方法	4月14日(金) 2限	大槻 剛巳	[3]	健康の指標	4月21日(金) 2限	大槻 剛巳	[4]	生活環境の保全：総論	4月28日(金) 2限	大槻 剛巳	[5]	感染症	5月12日(金) 2限	松崎 秀紀	[6]	生活環境の保全：各論	5月19日(金) 2限	大槻 剛巳	[7]	医療の制度，地域保健活動	5月26日(金) 2限	大槻 剛巳	[8]	食品保健・栄養	6月 2日(金) 2限	武井 直子	[9]	生活習慣病・難病	6月 9日(金) 2限	大槻 剛巳	[10]	母子保健・学校保健	6月16日(金) 2限	李 順姫	[11]	中毒学	6月23日(金) 2限	吉留 敬	[12]	健康教育とヘルスプロモーション，精神保健福祉	6月30日(金) 2限	大槻 剛巳	[13]	産業保健：総論	7月 7日(金) 2限	西村 泰光	[14]	産業保健：各論	7月14日(金) 2限	西村 泰光	[15]	まとめと最近の公衆衛生の話題	7月21日(金) 2限	大槻 剛巳
[1]	衛生学・公衆衛生学：総論	4月 7日(金) 2限	大槻 剛巳																																																														
[2]	健康と環境，疫学的方法	4月14日(金) 2限	大槻 剛巳																																																														
[3]	健康の指標	4月21日(金) 2限	大槻 剛巳																																																														
[4]	生活環境の保全：総論	4月28日(金) 2限	大槻 剛巳																																																														
[5]	感染症	5月12日(金) 2限	松崎 秀紀																																																														
[6]	生活環境の保全：各論	5月19日(金) 2限	大槻 剛巳																																																														
[7]	医療の制度，地域保健活動	5月26日(金) 2限	大槻 剛巳																																																														
[8]	食品保健・栄養	6月 2日(金) 2限	武井 直子																																																														
[9]	生活習慣病・難病	6月 9日(金) 2限	大槻 剛巳																																																														
[10]	母子保健・学校保健	6月16日(金) 2限	李 順姫																																																														
[11]	中毒学	6月23日(金) 2限	吉留 敬																																																														
[12]	健康教育とヘルスプロモーション，精神保健福祉	6月30日(金) 2限	大槻 剛巳																																																														
[13]	産業保健：総論	7月 7日(金) 2限	西村 泰光																																																														
[14]	産業保健：各論	7月14日(金) 2限	西村 泰光																																																														
[15]	まとめと最近の公衆衛生の話題	7月21日(金) 2限	大槻 剛巳																																																														
評価方法		[定期試験] 100%																																																															
テキスト		清水忠彦，佐藤拓代『わかりやすい公衆衛生学』(ヌーヴェルヒロカワ)(2010)																																																															
参考書		岸 玲子（編集），大前 和幸（編集），小泉 昭夫（編集），古野 純典（編集）『NEW予防医学・公衆衛生学 (Nankodo's essential well-advan)』(南江堂)(2012) 分子予防環境医学研究会『分子予防環境医学—生命科学の予防・環境医学への統合』(本の泉社)(2003) 厚生労働統計協会（編集）『厚生指標 増刊 国民衛生の動向 2014/2015』(厚生労働統計協会)(2015)																																																															
準備学習等		教科書に従って予習復習を心がける。																																																															
担当教員からのメッセージ		人が健康であるとはどういうことか，考えてみましょう！																																																															
オフィス・アワー		基本的に金曜の午後ならば学園内内線23752に居るとは思いますが，学会・業務等での出張や会議なども多いので不在のケースも多いで																																																															

す。全教員への連絡については、大槻が取りまとめます。大槻のEメール takemi@med.kawasaki-m.ac.jp であれば、学園内でなくてもほぼ連絡がつくので、メールで連絡を下さい。確実にレスします。

ウィンドウを閉じる